

2年連続、全国大会で銀賞と会長賞！ 大塚ろう学校・合奏のチャレンジ

大塚ろう学校の小学部6年生15名は、11月3日（土）「第7回 日本学校合奏コンクール2018 全国大会グランドコンテスト」（福島県郡山市）に出場し、「銀賞」と「会長賞」を受賞することができました。

この大会は、一般の小学校、中学校、高等学校の部門があり、都立校では都立駒場高校と南多摩中等教育学校の管弦楽が、高等学校の部門に出場していました。録音媒体による予選審査や各県大会を通過した学校が集まる大会で、小学校の部は17校が演奏を披露しました。本校は器楽合奏「レ・ミゼラブルメドレー」。去年よりも難しい曲に挑戦です。これまでの練習の成果をしっかりと発揮し、満足のいくハーモニーを会場いっぱいに響かせることができました。

◎ 児童の日記を紹介します。

「みんなの心が一つになったような気がしました。気持ちがよく、今まで練習してきたことをやり切ったと感じられる演奏、最高の演奏になったと思います。メロディー、ハーモニーベースが重なりあった音色、とても楽しかったです。」

「2年連続、銀賞と会長賞をもらい、とてもうれしいです。私がなによりうれしいのは、指揮の先生も含めて16人で演奏でき、今までの成果が発揮できたことです。ありがとうございました。」



本番直前のリハーサルの様子（郡山市民文化センター）



演奏終了後の集合写真



授賞式後

当日披露した曲は**11月14日（水）の10時15分**から、東京都特別支援学校総合文化祭音楽部門（国立オリンピック記念青少年総合センター）でも披露します。
城東分教室、永福分教室の和太鼓も発表します。